

秋聲旅日記 (2003)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 43分
初公開日 2003/10/04
公開情報 ユーロスペース

【解説】

「EUREKA ユリイカ」の青山真治監督が、大正から昭和初期に活躍した作家・徳田秋聲の著作『挿話』『籠の小鳥』『町の踊り場』『旅日記』を映像化した中編作品。故郷・金沢に帰省した秋聲と町の人々とのしばしの交流を、原作の時代設定をそのままに現代の金沢の中に再現。主演は嶋田久作ととよた真帆。

故郷の金沢に帰省した秋聲。彼は甥の辰之助に案内され、旧知のお絹とおひろの家へと向かう。そこは、ひがし茶屋街の一角、彼女たちの母親が始めた宿でもあった。だが、今では宿泊客もほとんどなく、かつての面影だけを残し、時代から取り残されてしまったかのようだ。それでも彼女たちは何にも動じることなく手際よく働き、お絹は時代に流されない落ち着いた佇まいをみせる。秋聲はそんな彼女に次第に惹かれていく。彼は病床の兄・順太郎を見舞いに行った。そして兄の気弱な態度から、鉾山に縛られて過ごした兄の30年の人生を思うのだった…。

【クレジット】

監督 青山真治
製作 堀越謙三
植村まゆみ
土肥悦子
原作 徳田秋聲
脚本 青山真治
撮影 たむらまさき
美術 林千奈
音楽 長瀧寛幸
録音 菊池信之
助監督 大田和志
原田健太郎
出演 嶋田久作 Kyusaku Shimada 徳田秋聲
とよた真帆 お絹
ナシモトタオ 辰之助
西條三恵 おひろ
宮上一樹 順太郎
ケイコ・リー Keiko Lee 歌手
北村純子 料亭の女将
東千絵 女中